

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市上野山児童館
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 26,510人(前年度比 99.1%) 令和5年度 26,745人 令和4年度 23,253人 《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 42,205千円 (41,850千円) - その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 - 使用料収入 0千円 (0千円) - その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童クラブサテライト室の避難訓練等の実施回数が、放課後児童クラブ運営指針で定められている回数(年2回以上)を満たさなかった。	30/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、様々な地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
「こどもがまんなか みんなで笑顔」を館のスローガンに子どもたちを中心に保護者も地域の皆さんも笑顔で過ごせる児童館を目指して様々な活動を行ってきました。 児童健全育成事業として取り組んでいる和太鼓「飛竜の会」は発足から8年目を迎え、高校生が小中学生に教えるなど世代を超えた交流が深まっています。また、町内会や市民センターなど地域の行事だけでなく、東北絆まつりや太白区民まつりなどたくさんの発表の機会をいただき、演奏を聴いた方から「迫力のある太鼓の響きに感動しました。」「この和太鼓は地域の財産ですね。」などの感想が寄せられ会員の大きな励みになっています。 子育て家庭支援では、トランポリンやボールプールなどで遊べる「スポーツタイム」広いスペースでのびのび遊べる「プラレール&ままごとタイム」など、曜日を決めて定期的に行うことでそれを楽しみに来館される方が増えています。「すくすくタイム」はハロウィンやクリスマスなど季節のイベントを中心にたくさんの方が楽しみにしており、親子の触れ合いと参加者同士の交流も深まっています。 地域交流推進事業として開催した「あそびのひろば」は職員が準備した遊びのコーナーに加え、子ども企画委員が計画・運営したコーナーや地域の関係団体による出店も複数設置し地域の子どもたちを中心にして様々な立場の方が連携する機会となりました。 放課後児童健全育成事業の児童クラブでは、子どもたちの意見を聞きながら日々の活動を計画し、異年齢での集団遊びや昔遊びを通して体力の向上や社会性の育成に努めてきました。また、子ども会議の係活動では、クイズ係がクイズを出して1年生を楽しませたり、整頓係が遊具の準備や片付けを行ったりするなど自主性や主体性が育ってきました。 これからも子どもたちを真ん中にして、みんなが笑顔になれる児童館を目指して様々な取り組みを工夫してまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、児童館にあるスポーツ用具を活用して親子で楽しむ「土曜親子スポーツタイム」や、児童館で楽しんでいる遊びを親子で体験する「土曜親子タイム」を実施した。親子の触れ合いの場になると共に、子どもの姿や成長を保護者と共有する機会となっている。また、継続して行っている和太鼓「飛竜の会」は、異年齢の子ども達や多世代の方々と交流しながら豊かな人間性を育んでいる。 子育て家庭支援事業においては、「すくすくタイム」は、七夕飾り作りやクリスマス会など季節に合わせたプログラムを提供し、保護者同士の交流の場になっている。また、「スポーツタイム」や「プラレール&ままごとタイム」の開催曜日を固定するなど、こどもが好きな遊びを選んで利用できるような環境づくりに努めている。「おさがり会」や子育てに悩みを抱える保護者同士の交流の場「くもはれ会」など利用者のニーズを反映させた行事を実施し、工夫を凝らした事業内容になっている。 地域交流推進事業においては、放課後デイサービスおりーぶ上野山と日常的に交流を持ち、ゲーム大会やハロウィンなどの行事も合同で行っている。遊びを通して関わりを深め、相互理解につながるよう支援している。また、「短歌教室」や「防犯教室」など地域の方々の指導を受けて活動する場を設け、多世代交流を通して児童の社会性や自主性を育んでいる。 放課後児童健全育成事業においては、こどもの意見や思いを反映させながら遊びや生活を組み立て、様々な遊びを通して主体的に生活できるよう工夫している。また、保護者に対して送迎時や児童館だよりなどでこどもの様子を日常的に伝え、保護者との協力関係を築いている。	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課